

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

**No. 380**

2010年4月 4日  
発行 日本共産党区議団  
Tel 3802-4627  
fax 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-  
catv.ne.jp  
★町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
Tel 3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。  
※「横山区議」で検索して下さい。

## 区の「清掃リサイクル」の計画策定に 「燃やして埋める」からの脱却を目標に



**ゴミ20%削減リサイクル率20%の目標は？  
ゴミ発生抑制、分別や再使用の拡大推進を**

3月29日、荒川区清掃審議会が開かれ、横山区議も委員として参加しました。目的は、「荒川区一般廃棄物処理基本計画」の改定を1年間かけて行うためです。

加味すると若干減少、リサイクル率も横ばいです。この間の変化といえば、不燃ゴミになっていった廃プラスチックを可燃ゴミにする一方、資源回収ではペットボトルと白色トレイの2

3年前に策定された基本計画は、2011年度までにゴミを20%削減、リサイクル率も20%にする目標でした。実際には、ゴミ量は、人口増を



※人口は各年度10月1日現在

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
ごみ量 (t)	62,257	62,138	63,862	64,261	61,657	61,936
人口	188,933	188,938	191,278	192,094	195,546	199,392
一人当たり(kg)	0.903	0.901	0.915	0.917	0.864	0.851

種類にしました。23区でも廃プラの分別回収を容器包装や製品にまで拡大している区も少なくありません。新たな基本計画策定にあたっては、そうした検証も必要ではないでしょうか。

新年度がはじまり、入学、入社など新しい人生の門出を祝福する光景が町のあちらこちらで見られることでしょう。貧困と格差の拡大、就職難など何かと暗い世相が立ちはたかりますが、人間の知恵と政治の責任で必ず打開できるはず。同時に、4月1日からは、制度などが変更されることで、暮らしに大きな変化が求められることも多々あります。鳩山政権になったのはじめての年度替わりは、国民健康保険、協会けんぽなどの保険料、国民年金掛け金、患者の窓口負担など軒並み値上げです。子ども手当や高校授業料の無償化などあるものの、庶民増税との抱き合



区役所前に設置された東京芸大生の作品

### 4月新年度がはじまりました 新たな希望の月…新たな「負担」もズッシリ

新年度は、やはり納得がいきません。相変わらずの値上げと負担増がずっしりといったところでしょうか。税金の集め方と使い方、本当のムダは何かなど考える節目です。

横山幸次

★裏面もご覧下さい  
国民健康保険料値上げ  
など特集しています

### 定例法律相談

4月 5日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

# 2010年最初の区議会では…パート3 高すぎる国民健康保険料が今年度も値上げに



東京23区の国民健康保険料は、同一保険料となつていきます。しかし、今年もまた保険料が値上げとなります。

今回は世帯一人当りの均等割額・住民税額に対する所得割・限度額も、全て引き上げとなります。日本共産党区議団は、この「値上げ条例改正」に反対しましたが、自公賛成多数で可決となりました。

世帯の人数にかかる均等割額は2001年度から見ると、据え置かれたのが一年だけ、それ以降は毎年引き上がり、この10年間で1.46倍、1万2600円も値上げ

になりました。

4人家族なら均等割だけで年間約16万円です。これに所得割がプラスされるのです。

税金より高額な国保料、いざ通院、入院となれば窓口で一部負担金が必要です。全国的には、滞納者からの保険証取り上げや窓口負担の重さから受診抑制も起こり、重症化、死亡する事例も多数報告されています。

保険料が高くなる大きな原因の1つは、国庫負担が10年間で半分に削減されたことです。命と健康を守る政治の責任が厳しく問われているのではないのでしょうか。

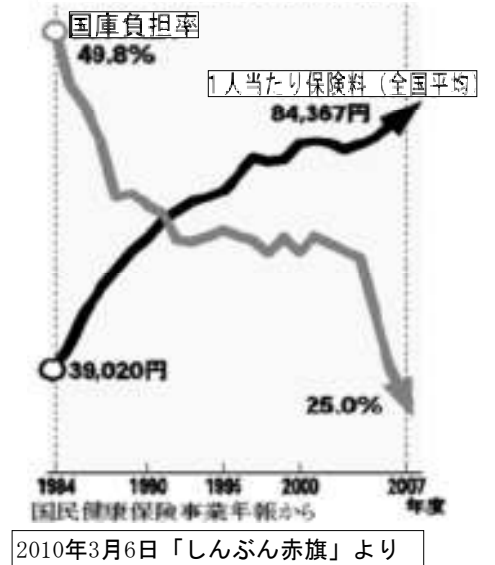
## 今年度の保険料改定内容…

	改正後	改正前
所得割	住民税の103/100	住民税の94/100
均等割	39,900円	37,200円

年度	額
2001	27,300
2002	27,300
2003	29,400
2004	30,200
2005	32,100
2006	33,300
2007	35,100
2008	36,900
2009	37,200
2010	39,900



## 国保会計の国庫負担率と保険料



## 区政トピックス…

### 30周年を迎えたシルバー人材センター 高齢者の就労と生きがいは…今後を考える

シルバーセンターは「高齢者の雇用の安定等に関する法律」に基づき区市町村ごとに設置されている公益法人です。荒川区は、1980年2月に都内40番目で発足。今年30周年を迎えました。

2月28日現在会員数1,667名、放置自転車対策、路上喫煙管理や公園・公衆トイレ・社寺の清掃、植木剪定・襖障子貼りなどの業務についています。

『就業を通して、健康で生きがいのある生活』が目的になっていますが、老後、年金だけでは生活できず、生活費補充のために働く場所が必要というのが現実です。

いっそうの仕事確保が、今後の課題です。



会員数	1,677
男性	1,056
女性	621
就業率	75.40%
年齢構成	平均年令72.7才
65～69	26.2
70～74	34.0
75才以上	32.5

## くらしの相談などお気軽に

最悪の雇用情勢、中小企業の単価切り下げや資金繰り悪化など深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504  
(横山事務所)

不在時は留守電に伝言を